



栃木市立三鴨小学校 2 学年便り

11月号

H24.10.31 発行

校庭の木々もどんどん色づき始め、秋の深まりが感じられるようになりました。
先月、生活科の校外学習で行ったとちのきファミリーランドでは、事前の打ち合わせの時から、2年生としての自覚をもって、グループのめあてを立てたり、乗り物に乗る順番を決める際は、1年生の意見を優先してあげたりしていました。ファミリーランドでは、手をつなぎながら乗り物を案内したり、ばらばらにならないように声をかけたりしていました。1年生の面倒を見る子どもたちに、頼もしさを感じました。さすが2年生です。

今月も大きな行事みかもっこフェスティバルがあり、お子さんの成長記録の1ページとなることと思います。2学期も後半、健やかに充実した気持ちで過ごせるように、これからも子どもたちをあたたく見守ってくださいますようお願いいたします。

11月の予定

月	火	水	木	金	土	日
			1 14:45 下校 (委員会活動のため)	2 計算カテスト エコキャップ 回収日	3 文化の日	4
5 口座振替 体重測定	6 全校合唱	7	8 全校合唱	9 フェスティバル準備 A L T 訪問	10 みかもっこフェ スティバル	11
12 フェスティバル 振替休日	13 12:45 下校 (下都賀地区小学校 教育研究会のため) 教育相談週間~22日	14	15 コロポック ル 人 形 劇 14:45 下校 (クラブ活動のため)	16 A L T 訪問	17	18 奉仕作業
19	20 かたくりさん 読み聞かせ	21 ふれあい共遊	22 14:45 下校 (クラブ活動のため)	23 勤労感謝の日	24	25 よさこい藤岡 パレード
26	27	28	29 藤岡地区理科展	30 藤岡地区理科展		
≪12月の主な行事≫ 3日(月)~7日(月) 人権週間 25日(火) 終業式						

みかもっこフェスティバルについて

10日(土)に、みかもっこフェスティバルが行われます。今、子どもたちは本番に向けて練習を頑張っています。発表の詳細は後日配布するプリントでお知らせします。ぜひ、ご家族の皆さんでいらしてください。

下校は、校庭で学年ごとにお子さんを保護者の方へ引き渡します。なお、12日(月)は振替休日になります。



今月の学習予定



国語	友だちのこと、知りたいな しかけカードの作り方・おもちゃの作り方	音楽	いろいろな音にしよう
算数	かけ算 かけ算九九づくり	生活	聞いて 聞かせて まちの すてき
体育	跳び箱遊び かけ足（持久走）	道徳	きいろい ベンチ 他
図工	あきをならべていいかんじ 紙版画		



お知らせとお願い！



寒さに負けない体・自分に負けない強い子をめざして「持久走大会」



12月5日(水)の持久走大会に向け、体育の時間にも少しずつ練習を始めます。また、10月下旬からすこやかタイムの5分間に、全校マラソントイムが始まりました。肌寒い日も増えてきましたので、健康管理をよろしくお願いいたします。

2年生の走る距離は、昨年同様600m（トラック3周）です。持久走は、苦しく、つらくてもあきらめずに走りぬく、まさに自分自身との戦いでもあります。一人一人が目標をもって取り組めるよう支援していきたいと思います。



よさこい藤岡パレードに参加します。



25日(日)に、藤岡の中心部を「よさこい藤岡」を踊りながら歩く、パレードが行われます。当日は、はっぴを着て、鳴子を持っての参加です。集合時刻・集合場所などの詳細は後日通知いたします。子どもたちの送り迎え等でお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。



かけ算九九に夢中です！



今、学級の中で流行っているのは、かけ算九九です。休み時間に友だち同士で九九の言い合いっこをしている姿が見られます。また、「言えるようになったから先生聞いて！」と自信にあふれる表情で九九検定に挑戦しに来ます。かけ算が得意！大好き！という子も増えてきました。これは、ご家庭でもかけ算九九の暗唱の練習にご協力いただいているからだと思います。ありがとうございます。すらすら言えると子どもたちは大変嬉しそうな顔を見せます。反面、数が大きくなるほど難しく感じているお子さんもいます。九九は大人になっても必要ですので「上り九九」「下り九九」「ばらばら九九」を正しく暗唱できるように、学校でも繰り返し練習を重ねていきたいと思います。子どもたちは、2学期中に九九検定の全コースを合格し、九九達人認定証を受け取れることを目標に頑張っています。ご家庭でのご支援、引き続きよろしくお願いいたします。



人権教育コーナー



5日(金)に生活科校外学習で栃木市藤岡図書館に行ってきました。案内役の方を先頭に、ぐると館内を見学させて頂きました。職員の方に質問したり、分かったことをしおりに一生懸命にメモしたりと、子どもたちは活発に活動しました。多くのことを学んだ中で、多くの子どもたちの心を動かしたのが点字の本でした。点字の本コーナーで実際に点字に触れ、「何かが書いてあるか分からない。目の不自由な人はこれでお話が読めるなんてすごい！」と驚くとともに、「自分も読めるようになりたい」という声が上がりました。そこで、今、点字のしくみについて調べています。フェスティバルで発表しますので、楽しみにしててください。点字の学習の中で、指だけで文字を覚え、読めるようになるまでにどれほどの努力が必要か身にしみて感じていました。

点字を知ってからというもの、図工の授業中には「ボンドに点字発見！何て書いてあるのかな。」と自分たちで読もうとする子どもたち。また、家の家電製品に、週末の出先の公共施設・設備に、とあらゆる場所で見つけた点字を興奮しながら教えてくれる子どもたち。周りに目を向けると、生活の中にこれほどバリアフリーがあるのかと気づかされます。社会には様々な人が共生していること、その全ての人が住みよい社会でなくてはならないことを私たち大人が忘れず、少しずつ子どもたちに教えていってあげることが大切ですね。

